

EU Indicators

欧州経済指標コメント：8月ドイツ鉦工業生産

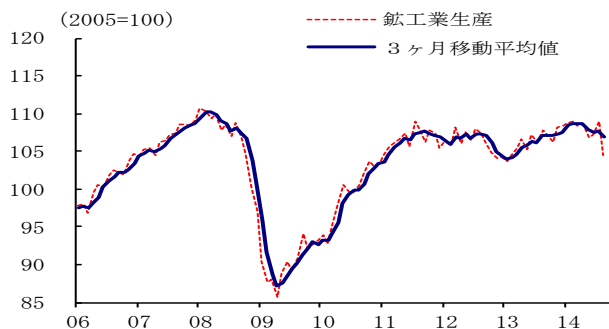
発表日：2014年10月8日(水)

～ドイツに景気後退の秋風～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

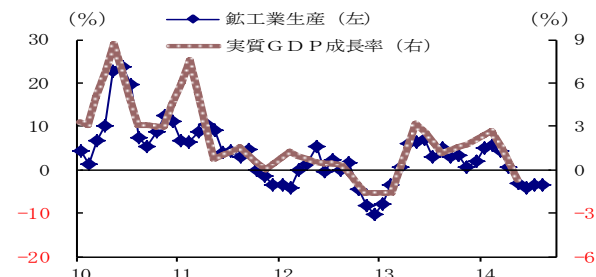
- 8月のドイツの鉦工業生産は前月比▲4.0%と3ヶ月振りに減少した。単月の落ち込み幅としては2009年1月以来となる大幅減産を記録。7月値も同+1.9%→同+1.6に下方修正され、極めて弱い数字。財種別の内訳は、資本財(同▲8.8%)の落ち込みが顕著だが、中間財(同▲1.9%)、耐久消費財(同▲1.6%)、非耐久消費財(同▲0.1%)、建設(同▲2.0%)とその他財も押し並べて減少した。前月に大幅減のエネルギー(同+0.3%)だけが反動に助けられ小幅増産となった。
- 業界団体の集計による9月の自動車生産は、新型モデルの生産開始や夏季休暇の終了により、8月の不振から大幅に反発した模様。最近の生産統計は月毎の振れが非常に大きく、夏季休暇の生産ライン停止などを季節調整で十分に除去し切れていない可能性もある。今月の大幅減産はさすがに実勢対比で下振れしていると見るのが素直な評価だろう。とは言え、最近の受注統計や各種のマインド統計が示唆する通り、生産活動全般が足踏み状態にあることは間違いない。
- 仮に9月の鉦工業生産が前月比で横這いとどまった場合、7-9月期の生産活動は前期比▲1.4%と2四半期連続の減産となる(4-6月期の実績は前期比▲1.1%)。7-9月期が前期比プラスとなるためには、9月が前月比で+4.5%以上の大幅反発が必要な計算。4-6月期の実質GDP成長率(前期比▲0.2%)は天候要因の反動減と暦要因で下振れしていたため、7-9月期の成長率は反動で上押しされることが見込まれるが、今月の生産統計の不振からは7-9月期のプラス成長復帰に“黄信号”が点滅している。

■ドイツ：鉦工業生産



出所：ドイツ経済技術省

■ドイツ：鉦工業生産と実質GDP成長率



注：鉦工業生産は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率。
 実質GDP成長率は前期比年率。

出所：ドイツ経済技術省、ドイツ連邦統計局

■ドイツの鉦工業生産(季節調整済み、前期<月>比、%)

	2013		2014		2014							
	3Q	4Q	1Q	2Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
鉦工業生産	0.7	0.5	1.1	-1.1	0.5	0.2	-0.6	0.2	-1.6	0.4	1.6	-4.0
製造業・鉦業	0.5	1.0	1.0	-0.6	0.0	0.4	-0.4	0.5	-1.6	0.2	2.3	-4.7
中間財	0.2	1.6	0.9	-1.0	-0.2	0.9	-0.7	0.7	-2.3	0.3	0.8	-1.9
資本財	0.6	0.5	1.1	-0.3	0.3	0.0	-0.3	0.1	-0.2	-0.4	4.6	-8.8
消費財	0.4	1.2	0.9	-0.4	-0.5	0.1	0.4	1.0	-3.4	1.9	-0.2	-0.4
耐久財	0.6	-1.6	1.8	-0.7	-1.5	2.8	0.9	-2.1	-1.1	2.2	-0.4	-1.6
非耐久財	0.3	1.8	0.6	-0.3	-0.3	-0.5	0.3	1.7	-3.8	1.8	-0.1	-0.1
エネルギー	1.4	-3.1	-3.0	-0.1	0.8	-3.1	1.4	-0.4	0.7	0.0	-3.9	0.3
建設	1.8	-0.6	4.6	-5.0	3.2	1.8	-4.3	-0.9	-3.4	1.4	1.0	-2.0

出所：ドイツ経済技術省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。